



中国四国

<http://www.mod.go.jp/rdb/chushi/>

第30号
平成27年10月発行

中国四国防衛局 防災応急対処訓練

対策本部運営訓練の様子



訓練の概要

平成27年7月21日、中国四国防衛局は、南海トラフ大地震の発生を想定し、防災応急対処訓練（速報伝達訓練、参集訓練、安否確認訓練、対策本部設置・運営訓練）を実施。

被災時における当局の対処能力の向上及び当局職員の防災意識の高揚を図りました！

情報板で状況を確認する職員



CONTENTS

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 中国四国防衛局 防災応急対処訓練 ② 第25回防衛セミナー ③ 米子市弓浜コミュニティ広場オープニング記念式典 ④ 日米交流事業(周防大島日米子供サッカー) ⑤ 優秀工事等顕彰状贈呈式 ⑥ 岩国飛行場藻場・干潟回復調査研究委員会 ⑦ 防衛省業務説明会・座談会 ⑧ 建設工事現場等研修(呉地区・岩国地区) ⑨ 第13旅団太田川渡河訓練 | <ul style="list-style-type: none"> ⑩ 在日米陸軍第10地域支援群弾薬廠との意見交換会 ⑪ 在日米海兵隊岩国航空基地副司令官感謝状贈呈 ⑫ 平成27年度契約制度(建設工事)の改正説明会 ⑬ 原田防衛大臣政務官愛宕山視察 ⑭ 防衛装備庁新設に伴う「ロゴマーク」防衛大臣表彰 ⑮ 菅原新局長着任式 人事異動 ⑯ 駐留軍等従業員募集
(独立行政法人 駐留軍等労働者労務管理機構) |
|--|--|



Chugoku-Shikoku
Defense-Bureau

編集・発行 中国四国防衛局
〒730-0012 広島県広島市中区上八丁堀6-30
Tel. 082-223-7109



第25回防衛セミナー

第1部 「我が国の安全保障環境への対応と沖縄基地負担の軽減に向けて」

防衛省 地方協力局次長 山本 達夫

第2部 「新「日米防衛協力のための指針」の策定について」

防衛省 防衛政策局 日米防衛協力課長 加野 幸司



平成27年7月29日、中国四国防衛局は、広島県広島市の広島国際会議場国際会議ホール「ヒマワリ」において、「我が国の安全保障環境への対応と沖縄基地負担の軽減に向けて」をテーマに、第25回防衛セミナーを開催しました。

広島市での開催は4回目となり、当日は、190名の方々が来場され、講演後には質疑応答が行われました。

第1部では、地方協力局山本達夫次長から「我が国の安全保障環境への対応と沖縄基地負担の軽減に向けて」と題し、沖縄の普天間飛行場の移設問題について、マスコミや国民の関心が高まっていますが、その前提として、沖縄の基地負担の軽減に向けてどういった取り組みを防衛省として行っているかということを含めて、主に我が国の安全保障環境、日米同盟、沖縄基地負担の軽減の3点について、講演を行いました。

続いて第2部では、防衛政策局日米防衛協力課加野幸司課長から「新「日米防衛協力のための指針」の策定について」と題し、平成27年4月に新たな日米防衛協力のための指針が日米安全保障協議委員会(2+2)で了承され、この新たな指針の下で、日米両国が同盟の抑止力・対処力を一層強化していくことについて、講演を行いました。

聴講された方々からは、「はじめての参加でしたが、非常に分かりやすかった」、「辺野古移転の理由がよくわかった」、「日本を取り巻く事情の変化、それに伴う防衛政策について聞くことが出来てよかった」、「新ガイドラインが非常に高度な議論の下、策定されたのだということがわかった」、などの感想や意見を頂きました。

米子市弓浜コミュニティー広場オープニング記念式典

平成27年7月25日(土)、当局が美保飛行場周辺の国有地の利活用事業として整備した米子市弓浜コミュニティー広場がめでたく完成し、米子市主催でオープン記念式典が挙行されました。

本事業は、美保飛行場周辺の国有地の利活用について、当局と地元米子市が連携し、住民の皆様から歓迎される土地利用を進めることが重要であるとの認識の下、平成17年度から基本検討を開始し、地元の皆様のご要望も踏まえ、平成20年度からレクリエーションや各種スポーツに利用していただけるよう、人工芝のサッカーグラウンドやソフトボール・グランドゴルフに使用できる多目的広場、散策園路などの工事に着工し、本年3月に完成したところです。

この広場が多くの市民の皆様にご利用され、スポーツ振興や地域のまちづくりに寄与できますよう、期待しております。

【事業概要】

全体事業費：783,168千円

実施期間等：実施設計(平成19年度)、本工事(平成20年度～平成26年度)

全体面積：105,346㎡

主要施設：第1多目的広場 { 人工芝仕様グラウンド(約17,700㎡)
一般サッカーフィールド2面
少年サッカーフィールド4面

: 第2多目的広場 { クレイ舗装の多目的広場(約12,900㎡)
ソフトボールコート、ゲートボールコート、グランドゴルフ使用可

: 駐車場・乗用車147台

: その他・トイレ2棟、東屋3基、園路舗装等



来賓等によるテープカット



米子市長挨拶



内覧会



これからサッカー教室

日米交流事業(周防大島日米子供サッカー)



中国四国防衛局は平成27年9月27日、周防大島町陸上競技場で「SUO-O SHIMA日米子供サッカー」を開催しました。このイベントは、米海兵隊岩国航空基地周辺の住民の方々と基地関係者の相互理解を深めるため実施したもので、日米子供サッカーは、昨年に続き今回で2回目の開催になりました。

開会にあたり、主催者の芹澤清中国四国防衛局長から「防衛局は、これまで、米海兵隊岩国基地と周辺の住民の方々との交流、相互理解を深めることを目的とした日米交流事業を行っており、今年も昨年に引き続き、この周防大島で開催することとなった。サッカーを通じてお互いにふれあいながら、たくさん友達を作って楽しんで欲しい。」旨の挨拶がありました。

来賓の岡村春雄周防大島町副町長から「周防大島には青く澄み渡る海と美しい自然があり、ハワイ州カウアイ島とも姉妹島で、現在も交流を続けている。今日一日、サッカーで、一人でも多くの友達を作って欲しい。」旨、椎木巧町長の挨拶を代読され、米海兵隊岩国航空基地司令官のロバートV. ブシェー大佐から「日米から参加したみなさんが、今日一日、サッカー交流を通して友情を築くことができる素晴らしい機会である。日頃練習している仲間ばかりではなく、同じチームになった新しい友達と楽しみながらお互いのいいところを学んで欲しい。今日の交流は、皆さんの心にずっと残る良い思い出になる。」旨の挨拶がありました。

当日は、周防大島町内サッカースポーツ少年団及び米海兵隊岩国航空基地ユースサッカーの7才から9才までの児童を中心に約40名が参加し、日米混合チームによる練習や試合を楽しみました。

最初はぎこちなかった日米の児童も、練習や試合を通じて互いに協力しながら交流を深めていくことができ、最後に、固い握手を結び閉会となりました。

参加した児童からは、「おもしろかった。たくさん友達ができてよかった。」保護者からは「普段、こんな機会がないので、貴重な体験ができました。また来年も参加させたいです。」などの感想が寄せられました。

大会の様子



みんなで楽しく昼食



計5チームによるリーグ戦



開会式の挨拶をされる芹澤局長

優秀工事等顕彰状贈呈式

中国四国防衛局は平成27年7月7日、広島合同庁舎2号館会議室で平成27年度優秀工事等顕彰状贈呈式を開いた。本年度の顕彰者は優秀工事16社、優秀業務4社、優秀工事・業務技術者8名で紅林昌調達部長からそれぞれに顕彰状が贈呈された。本制度は同局発注工事のうち、平成26年度に完成したもののなかから、工事・業務成績評定点が優れたもの、発注者や要求機関のニーズを的確に反映したもの、品質向上に寄与するなど先進的な姿勢が伺えるものを総合的に評価し、他の模範とするにふさわしい工事・業務を選び、その請負者並びに技術者を顕彰するというもので、今回で7回目を数える。なお、顕彰を受けると、総合評価方式で加点される。



優秀工事業者の受賞の様子



優秀業務業者の受賞の様子

優秀工事

高知(24)射場新設土木工事 ジョウトク建設(株)	岩国飛行場(H23)整備格納庫(A) 新設電気工事 東光電設(株)	岩国飛行場(H24)低層住宅 (桜通東8・9)新設機械工事 (株)大嶋商会	岩国飛行場(H24)洗機施設(B) 新設土木工事 八木興業(株)
岩国飛行場(H24)給油施設新設 土木工事 勝井建設(株)	岩国飛行場(24)護岸(439) (2工区)整備工事 ユタカ工業(株)	岩国飛行場(24)護岸(439) (2工区)整備工事 (株)ナルキ	岩国飛行場(H24)通信施設新設 電気工事 (株)フジテクノ
岩国飛行場(H23)統合防錆格納 庫新設土木工事 日栄興業(株)	美保通信所(24)道路等整備工事 (株)シモモト	岩国飛行場(24)護岸(439) (5工区)整備工事 (株)ガンシン	岩国飛行場(H24)洗機施設(A) 新設土木工事(その3) (株)森野組
美保(24)燃料施設新設電気 その他工事 岡田電工(株)	防府北(25)庁舎等新設電気 その他工事 入交建設(株)	小松島(25補)隊舎改修建築 その他工事 賀上建設(株)	防府北(25)庁舎等新設建築 その他工事 成長建設(株)

優秀業務

岩国飛行場(25)計測管理業務 復建調査設計(株)	美保(26)駐機場整備土木設計 日本工営(株)	美保(26)受配電所増設等 設備設計 (株)総合設備コンサルタント	呉外(25補)津波 シミュレーション調査 いであ(株)
------------------------------	----------------------------	---	-----------------------------------

優秀工事・業務技術者

岩国飛行場(H23)整備格納庫(A) 新設電気工事 (株)サンテック 監理技術者 高木 悟	岩国飛行場(H24)低層住宅 (桜通東8・9)新設機械工事 大成温調(株) 監理技術者 佐藤 公俊	岩国飛行場(H24)給油施設新設 土木工事 (株)NIPPO 監理技術者 東 憲生	岩国飛行場(H24)洗機施設(A) 新設土木工事(その3) (株)NIPPO 監理技術者 平田 定彦
岩国飛行場(24)護岸(439) (5工区)整備工事 洋伸建設(株) 現場代理人 柿崎 直昭	岩国飛行場(H24)通信施設新設 電気工事 (株)九電工 現場代理人 清水 秀人	岩国飛行場(H23)整備格納庫(A) 等新設土木工事監理業務 (株)アース開発コンサルタント 担当技術者 藤本 智史	岩国飛行場(H24)統合防錆格納 庫誘導路舗装等工事監理業務 (株)アース開発コンサルタント 担当技術者 尾山 明

岩国飛行場藻場・干潟回復調査研究委員会

第59回岩国飛行場藻場・干潟回復調査研究委員会

中国四国防衛局は、平成27年6月29日、第59回岩国飛行場藻場・干潟回復調査研究委員会をシンフォニア岩国にて開催しました。同委員会は、岩国飛行場滑走路移設事業に伴い消滅した藻場・干潟について、その回復措置の検討に必要な指導や助言を得るために設置されています。今回の委員会では、中国四国防衛局から平成27年1月～4月の周辺藻場・干潟における環境調査結果、モニタリング調査結果や平成26年度の岩国飛行場藻場・干潟回復事業の進捗状況について報告などを行い、学識経験者の各委員から調査結果に対する評価や指導・助言をいただきました。

また委員会に先立って、岡田委員長を始めとする委員の方々に、藻場・干潟回復工事の現場を視察いただき、実際の藻場の回復状況を確認しました。



委員会の様子



委員会の様子



藻場・干潟の現場視察の様子

防衛省業務説明会・座談会



(人事院中国事務局主催官庁合同業務説明会)

国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）の受験生を対象に人事院中国事務局主催の官庁合同業務説明会に陸上自衛隊中部方面総監部及び海上自衛隊呉地方総監部と共同で参加、また陸上自衛隊海田市駐屯地、海上自衛隊呉地方総監部及び中国四国防衛局で業務説明会を行いました。防衛省に勤務する事務官及び技官について説明を行ったところ、参加者からは「防衛省といえば自衛官が勤務しているイメージがありましたが、事務官や技官がいるのは初めて知りました。入庁希望官署のひとつとして検討したいと思います。」等の意見がありました。

建設工事現場等研修(呉地区、岩国地区)



(海上自衛隊呉造修補給所第1棧橋整備)



(在日米軍施設呉第六突堤)



(呉係留船係留施設)



(愛宕山運動施設エリア)



(愛宕山家族住宅エリア)



(岩国基地施設整備状況説明)

平成27年7月22日及び9月3日に平成26年度から27年度に採用された職員を対象とした業務現地研修を行いました。本研修は、中国四国防衛局職員として必要な業務遂行上の知識を醸成し、職務に対する使命感を自覚させることを目的とし、呉地区は海上自衛隊呉地方総監部及び在日米軍呉第六突堤等、岩国地区は岩国基地及び愛宕山地区を研修しました。施設整備の現場を研修するとともに施設整備の状況、計画を進める上で留意する事項について、それぞれ担当する職員から説明を受けました。研修生からは、「実践的な話が多く、理解しやすかった。」、「施設整備の考え方が分かった」などの声を聞くことができ、当局職員としての認識を自覚する有意義な研修となりました。

第13旅団太田川渡河訓練

平成27年8月6日(木)、広島市西区の太田川放水路において、陸上自衛隊第13旅団の主催により渡河訓練が実施されました。



(軽門橋を用いた関係部外機関車両の対岸への運行の様子)

在日米陸軍第10地域支援群弾薬廠との意見交換会

平成27年8月21日、在日米陸軍第10地域支援群弾薬廠廠長ラリーR. ムーア中佐他と、当局芹澤局長、越智総務部長、伊藤企画部長、紅林調達部長他が呉第六突堤にて意見交換が行われました。

当日は、ムーア中佐他隊員の皆様と様々な話しを交わすなどし、有意義な時間を過ごしました。



(芹澤局長、ラリーR. ムーア中佐)



(前任者: グレー1等軍曹)



(後任者: クック1等軍曹)

在日米海兵隊岩国航空基地副司令官感謝状贈呈

平成27年6月26日、広島合同庁舎4号館当局局長室において在日米海兵隊岩国航空基地副司令官マイケル J・カレイロ中佐が離日されるに当たり芹澤局長から感謝状を贈呈しました。

現在、岩国航空基地においては、米軍再編による新たな部隊の編入、またそれに伴う駐留軍等労働者の大幅な増員が始まっていますが、同中佐は、就任以来、駐留軍等労働者に関する問題を始めとした岩国基地における複雑困難な諸問題の解決に尽力され、当局の業務遂行に多大な貢献をされました。



(カレイロ中佐と芹澤局長)



平成27年度契約制度(建設工事)の改正説明会

平成27年9月16日、広島合同庁舎4号館会議室において、防衛省経理装備局施設整備課整備企画室建設制度企画班と装備施設本部施設計画課施設契約室の担当者から、当局建設工事を担当する調達部職員に対し説明を行いました。



(説明会会場の様子)

当日の説明内容は、

- *平成26年度の契約状況
- *契約制度の改正
 - ・予備自衛官・即応予備自衛官の評価
 - ・施工能力評価型の改正
 - ・現場代理人の実績評価
 - ・社会保険等未加入対策
- *コンプライアンス
- *その他
 - ・建設業界との意見交換会の報告
 - ・防衛省組織改編(防衛省改革)
 - ・部隊発注工事のサポート
 - ・入札の事後的検証の新たな試み
- *質疑応答

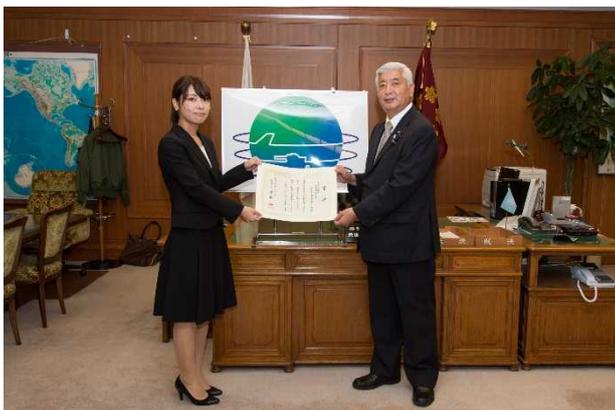
原田防衛大臣政務官愛宕山視察

平成27年9月30日、原田憲治防衛大臣政務官が海上自衛隊岩国基地において部隊を視察し、現地隊員の士気を鼓舞するとともに、部隊における装備品、施設等の現状を確認し、同基地内を視察されました。

その後、愛宕山において、現在計画中の運動施設等について、中国四国防衛局伊藤企画部長及び紅林調達部長から愛宕山地区工事概要等の説明を受け現場視察を行いました。



防衛装備庁新設に伴う「ロゴマーク」防衛大臣表彰



平成27年度防衛省組織改編に伴い、平成27年10月1日に防衛装備庁が発足しました。

今般の防衛装備庁の発足に際し、防衛装備庁ロゴマークを作成するにあたり、防衛省職員から応募のあった67作品の中から、部外有識者の意見や職員のアンケートを元に選定した結果、中国四国防衛局調達部調達計画課に勤務する嘉村麻衣子技官の作品が選ばれ、防衛装備庁発足式において、中谷元防衛大臣から表彰状が授与されました。

防衛装備庁ロゴマーク



【コンセプト】

中心の円は、各自衛隊を想起させる色を用い、装備品の取得に係る防衛省内の組織が一致協力して和(輪)をなし、業務に取り組んでいく様子を表しています。

また、地球をイメージし、国際平和に貢献していくという意味も含まれています。円を取り巻く3つの線は、陸海空自衛隊の代表的な装備品である車両、護衛艦、航空機を表しています。

菅原新局長着任式

菅原 隆拓 中国四国防衛局長の着任式が平成27年10月2日に行われました。

菅原局長は、「局長として、中国・四国地方9県という広範囲にわたる地域の防衛行政を担うこととなり、その責任と使命の重さに非常に身の引き締まる思いです。防衛省・自衛隊の多岐にわたる任務に対する国民からの負託に応えるべく、国民の理解と協力、そして信頼を得るための各種施策を着実に進めていくことは、我々に課せられた大変重要な任務であり、また使命であると認識しています。私と致しましては、これまでにおける職務の経験を生かし、当局に課せられた様々な任務に、職員の先頭に立って全力で取り組んでまいり所存です。職員各位におかれましては、我が国の平和と独立を守る防衛省職員としての使命を自覚し、日々の業務にあたられることを希望します。」と職員に訓示しました。



人事異動(平成27年10月1日付)(平成27年7月31日付)

中国四国防衛局長



菅原 隆拓

10月1日付で中国四国防衛局長に着任いたしました菅原です。

これまでにおける職務の経験を生かし、当局に課せられた様々な任務に、職員の先頭に立って全力で取り組んでまいりたいと考えております。

一方で、防衛施設行政及び地方勤務の双方とも初めての経験であり、勝手が分からないことが多いというのが実情で、職員の協力を得ながら、これからしっかりと勉強し、任務を全うできるよう努力していきたいと考えておりますので、宜しくお願いいたします。

総務課長
伊輪徹哉 27.10.1



玉野事務所長(1等海佐)
野口正弘 27.7.31



駐留軍等従業員募集(独立行政法人 駐留軍等労働者労務管理機構)



日本の「アメリカ」で 働きませんか

「エルモ」が応援
あなたの就活

▶ 在日米軍基地で働くとは

我が国には、日米安全保障条約に基づき、在日米軍が駐留しています。この在日米軍の任務遂行のために必要な労働力は、国(防衛大臣)が雇用し、在日米軍に提供しています。在日米軍基地で勤務している方々は、在日米軍従業員又は駐留軍等労働者と呼ばれて、事務や技術、販売等多様な支援業務を行っています。在日米軍においては、それら多様な支援業務に関する豊富な知識や経験を持った即戦力となる方を求めています。

▶ どんな仕事があるのか

職種	業務内容
事務・技術関係	庶務、会計、通訳、建築、土木、機械など
技能・労務関係	補修、点検、運転、清掃、販売、ウェ이터・ウェイトレスなど
警備・消防関係	警備員、消防員など
医療関係	歯科衛生職、医療技術職など
看護関係	看護職、看護助手職など

欠員等必要に応じて随時募集しています。
詳しくは、エルモホームページもしくは支部窓口でお確かめください。

▶ 応募方法は

次の方法でご応募ください。

(①～③の応募受付後、④支部窓口へ履歴書等の応募必要書類をご提出いただきます。)

- ①インターネット応募(24時間受付中) パソコン又はスマートフォンで(<http://www.lmo.go.jp>)へ
- ②携帯サイト応募(24時間受付中) 携帯電話で(https://oubo.lmo.go.jp/oubo_pub_mob/keisai/)へ
- ③ハローワーク(職業安定所)応募 最寄りのハローワーク窓口へ
- ④窓口応募 下記の支部にて受付中(募集案内パンフレット配布中)
(土曜・日曜、祝日及び12/29～1/3を除く8:30から17:15まで)

ホームページアドレス

<http://www.lmo.go.jp>

LMO 検索



携帯電話アドレス

https://oubo.lmo.go.jp/oubo_pub_mob/keisai/

岩国支部

〒740-0027
山口県岩国市中津町2-15-35
TEL:0827-21-1271 FAX:0827-21-1273
【アクセス】
JR岩国駅から岩国市営バス藤生線
(新寿橋経由)基地前バス停下車
(所要時間約5分)徒歩1分

岩国支部呉分室

〒737-0051
広島県呉市中央1-6-9 センタービル呉駅前
TEL:0823-32-7087 FAX:0823-25-2008
【アクセス】
JR呉駅から徒歩2分

●窓口応募受付・お問い合わせ



独立行政法人
駐留軍等労働者労務管理機構【エルモ】

リサイクル推進 R70
このパンフレットは、環境にやさしいリサイクル紙を使用しています。